

撮っと君

画像撮影ユーティリティ

取扱説明書



改定記録		
改訂番号	改定日	内容
Rev.1.0	Jul 2017	初版
Rev.1.1	Jan.2019	会社情報変更
Rev.1.2	Oct.2019	「USB-COM インターフェーススキャナ」でのみ使用可能であることを追記

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。3. 本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。5. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。 |
|---|

※ 弊社製品との併用に限り、ライセンスフリーでご使用頂けます。

目次

内容

1.はじめに	5
1.1.製品の特長	6
1.2.対応OS	6
2.インストール / アンインストール	7
2.1.インストール	8
2.2.アンインストール	8
3.撮っと君の起動と終了	9
3.1.撮っと君の起動	10
3.2.撮っと君の終了	10
4.メインメニュー画面	11
4.1.メニュー	12
4.1.1.ファイル	12
4.1.2.設定	12
4.1.2.1.通信設定	13
4.1.2.2.画像設定	14
4.1.2.3.収集設定	18
4.1.2.4.メール設定	20
4.2.画像収集機能	22
4.3.コード & 画像 (1件) 収集機能	22
4.4.コード & 画像 (複数) 収集機能	22
5.画像収集画面	23
5.1.画面内容	24
5.2.操作方法	24
6.コード & 画像収集 (1件) 画面	25
6.1.画面内容	26
6.2.操作方法	26
7.コード & 画像収集 (複数) 画面	27
7.1.画面内容	28
7.2.操作方法	28
8.制限事項	31
8.1.エラー対応	32

撮っと君

- Blank Page -

1. はじめに

この度は、撮っと君をご利用頂き、ありがとうございます。

本書は、撮っと君の操作方法について、説明致します。

撮っと君とは、読み取ったバーコードデータと撮影した画像を、シリアル（USB-COM）ポートから受け取り、収集するソフトウェアです。

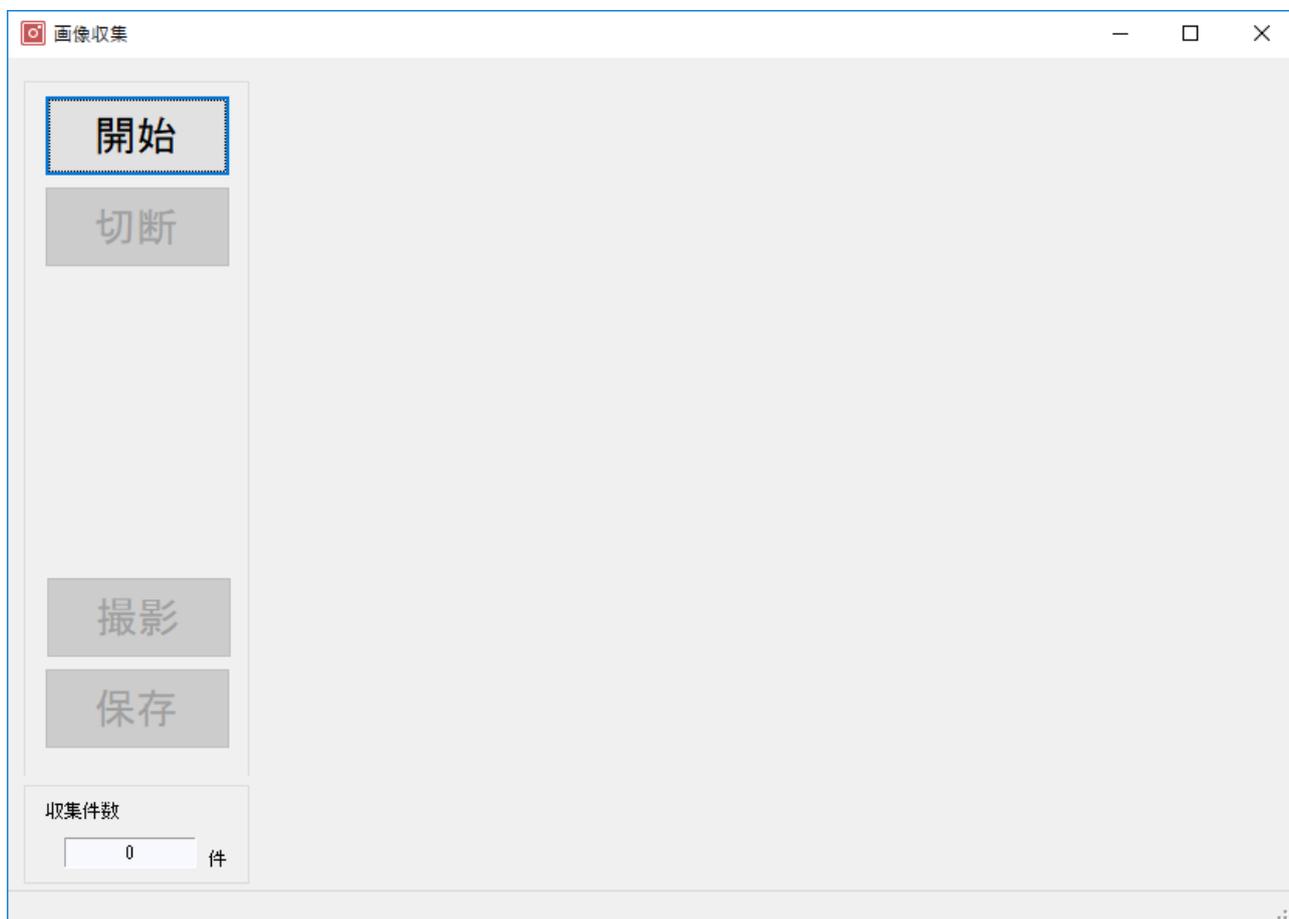
1.1. 製品の特長

- ◆ 画像収集機能、コード/画像(1件/複数件)収集機能があります。
- ◆ 画像収集は、トリガ押下、ボタン押下、バーコードと同時に撮影の3パターンがあります。
- ◆ 画像収集後の保存ファイル名称は、連番、指定ファイル名、バーコードデータ、日付、時刻にて設定が行えます。
- ◆ 収集した結果を、1件収集時、メニュー終了時、アプリ終了時、指定時間毎にメール送信が行えます。
- ◆ **本製品は USB-COM インターフェーススキャナのみに対応しており、「USB バーチャル COM (V-COM)」設定が必要となります。**

1.2. 対応 OS

Microsoft Windows 7 / 8 / 10

2. インストール / アンインストール



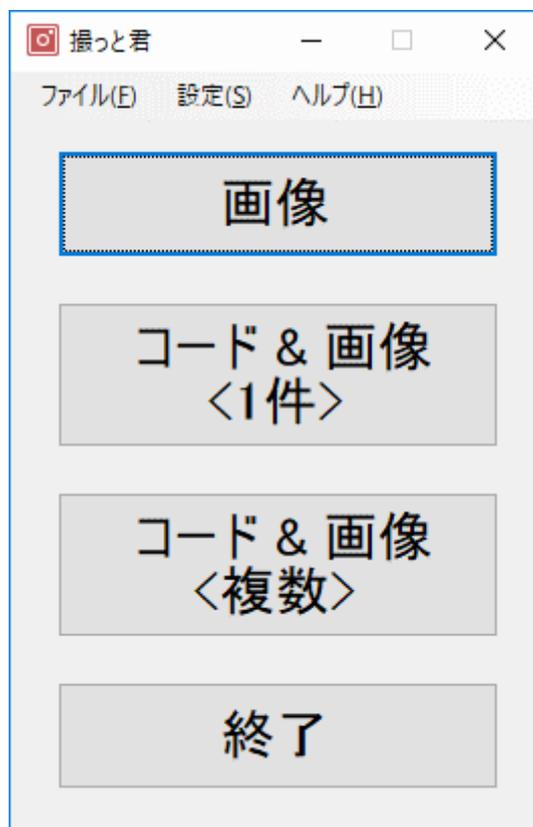
2.1. インストール

1. CD イメージを解凍して下さい。
2. 「Tottokun¥Tottokun¥Setup.exe」を実行して下さい。
3. あとは画面の指示に従って、インストールして下さい。

2.2. アンインストール

1. コントロールパネルより、「プログラムの追加と削除」を選択して下さい。
2. 「撮っと君」を選択して下さい。

3. 撮っと君の起動と終了



3.1. 撮っと君の起動

以下の方法で、起動する事が出来ます。

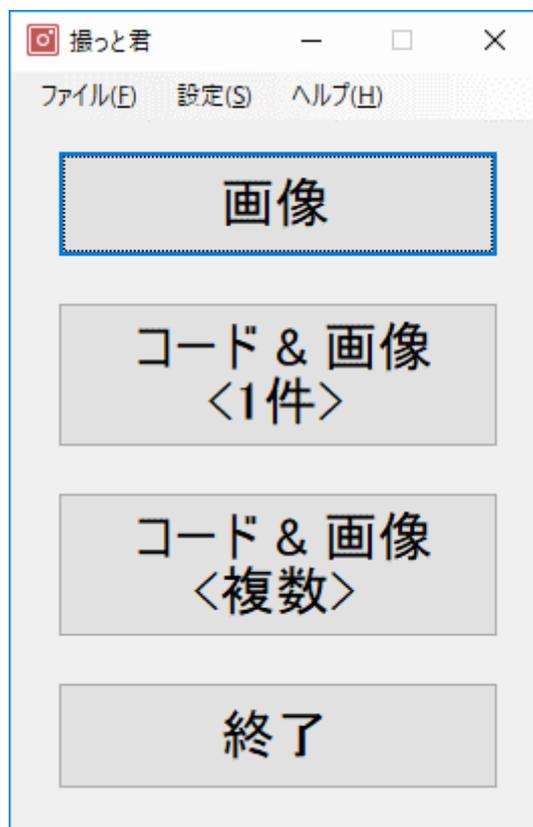
- ◆ [スタート] ⇒ [すべてのプログラム] ⇒ [撮っと君]をクリックします。
- ◆ デスクトップ上にある[撮っと君]をクリックします。

3.2. 撮っと君の終了

以下の方法で、終了する事が出来ます。

- ◆ メイン画面にある終了ボタン
- ◆ メイン画面の「ファイル(F)」 ⇒ 「終了(X)」
- ◆ メイン画面右上にある  終了ボタン

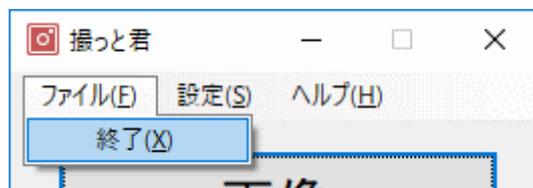
4. メインメニュー画面



撮っと君

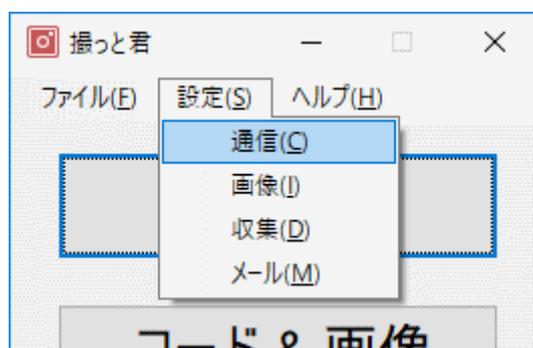
4.1.メニュー

4.1.1.ファイル



撮っと君を終了します。

4.1.2.設定



通信 / 画像 / 収集 / メールの設定を行います。

4.1.2.1. 通信設定

項目	設定値
ポート	COM6
通信速度	9600
データ長	8
ストップ	1
パリティ	なし
フロー制御	なし

シリアルポートに関する設定を行います。

1. ポート
作成されているポート番号が表示されます。
使用するポート番号を選択して下さい。
2. 通信速度
300 / 600 / 1200 / 2400 / 4800 / 9600 / 19200 / 38400 / 57600 / 115200
スキャナの設定と同じ通信速度を設定して下さい。
3. データ長
7 / 8
スキャナの設定と同じデータ長を設定して下さい。
4. ストップ
1 / 1.5 / 2
スキャナの設定と同じストップビットを設定して下さい。
5. パリティ
なし / Even / Odd
スキャナの設定と同じパリティを設定して下さい。
6. フロー制御
なし / RTS/CTS / XON/XOFF
スキャナの設定に従い、フロー制御を設定して下さい。

4.1.2.2. 画像設定

画像の保存先、ファイル名称、撮影時の設定、収集時の設定を行います。

1. フォルダ設定

(1) フォルダパス

画像ファイルを保存する為のフォルダを指定して下さい。

(2) フォルダ名

フォルダパスに作成するフォルダ名を指定して下さい。
記載されたフォルダ名が無い場合には、作成します。

(3) 日付付加

フォルダ名の後ろに"_" (アンダーバー) と日付 (YYYYMMDD) を付加します。

(4) 時刻付加

フォルダ名の後ろに"_" (アンダーバー) と日付 (HHmmss) を付加します。

2. ファイル名

(1) 連番付加

ファイル名の前に連番と"_" (アンダーバー) を付加します。

(2) ファイル名

保存する元となるファイル名となります。

- (3) 日付付加
ファイル名の後ろに"_" (アンダーバー) と日付 (YYYYMMDD) を付加します。
- (4) 時刻付加
フォルダ名の後ろに"_" (アンダーバー) と日付 (HHmmss) を付加します。
- (5) ファイル名をバーコードにする
ファイル名を読み取ったバーコードデータとします。
- (6) 抽出開始位置
読み取ったバーコードデータの抽出する開始位置を設定します。
- (7) 抽出桁数
読み取ったバーコードデータの抽出する桁数を設定します。

3. 画像サイズ

取得する画像サイズを設定します。

- ・ 844 × 640
- ・ 640 × 480

4. ファイルフォーマット

取得する画像のファイルフォーマットを設定します。

- ・ JPEG 白黒
- ・ Bitmap 白黒
- ・ JPEG カラー
- ・ Bitmap カラー

5. 画像保存前確認

撮影した画像を確認する為の設定です。

チェックする事で、保存ボタンが有効となり、確認後ボタン押下にて、保存します。

6. 撮影方法

画像を撮影する方法を設定します。

- ・ ボタンで撮影
画面上の撮影ボタンを押下する事で、撮影を行います。
- ・ トリガで撮影
トリガを押す事で、撮影を行います。
- ・ バーコードと同時に撮影
バーコードを読み取ったと同時に撮影を行います。

7. 撮影時の設定

(1) ビープ鳴動

画像撮影時にビープを鳴動するかを設定します。

(2) LED 照明

画像撮影時に LED 照明を ON にするかを設定します。

※ スキャナを手で持って撮影する場合には、ON にする事をお勧めします。

(3) ゲイン

ボリュームコントロールの様な役割を果たし、ゲインモディファイアが信号を増幅させ、ピクセル値を修正します。ゲインを増やすと、画像の乱れも増幅されます。

- ・ ゲイン なし
- ・ ゲイン 中
- ・ ゲイン 高
- ・ ゲイン 最大

(4) 露光 (露出) 時間

スキャナが画像を取り込む時間の長さを設定します。

- ・ 1 ~ 999

(5) ホワイト値

画像のグレースケールの中心値を設定します。

- ・ 0 ~ 255

8. 画像取得時の設定

(1) ノイズの除去

白黒ノイズを低減します。

(2) グレースケール

画像をグレースケールにするか、白黒にするかを設定します。

※ BMP フォーマットのみ有効です。

- ・ グレースケール
- ・ 白黒

(3) ヒストグラムストレッチ

画像のコントラストを設定します。

(4) JPEG 品質

JPEG 画像の画質を設定します。

数字を大きくすると画質は高くなりますが、ファイルは大きくなります。

小さくすると、圧縮率が大きくなり、転送速度が速くなりますが、画質は落ち、ファイルは小さくなります。

- ・ 0 ~ 100

(5) イメージ回転

画像を回転して、取得します。

- ・ 0 度
- ・ 90 度
- ・ 180 度
- ・ 270 度

9. 複数読み取り時の初期値

コード&画像(複数件)収集機能の初期値を設定します。

(1) バーコード数

バーコードの収集件数を設定します。

(2) 画像数

画像の収集件数を設定します。

10. OK ボタン

設定内容を保存します。

11. キャンセルボタン

設定内容を破棄します。

12. 初期化ボタン

画像設定の部分を初期化します。

※ フォルダ設定 / ファイル設定については、初期化しません。

4.1.2.3. 収集設定

収集設定

データの記録
 記録しない 記録する

ファイル作成方法
 新規追加 追加書込

データの区切り文字
 カンマ区切り タブ区切り その他

記録するデータ
 メニュー番号 日付 時刻

フォルダ設定
パス

フォルダ名 + 日付 + 時刻

ファイル設定
ファイル名 + 日付 + 時刻

収集ファイルの設定を行います。

1. データの記録

収集したデータの記録設定を行います。

2. ファイル作成方法

収集ファイルの作成方法を設定します。

- ・ 新規追加
書き込み時、新規にファイルを作成します。
- ・ 追加書込
設定されているファイルがある場合、最終行に追加する形で、書き込みます。
ファイルが無い場合には、ファイルを作成します。

3. データの区切り文字

項目毎の区切り文字を設定します。

- ・ カンマ区切り
- ・ タブ区切り
- ・ その他
その他を選択した場合には、テキストボックスへ16進数表記で、区切り文字を設定して下さい。

4. 記録するデータ

収集したデータの他に、追加するデータを設定します。
設定したデータは、収集した項目の前に付加されます。

- ・ メニュー番号
- ・ 日付
- ・ 時刻

5. フォルダ設定

(1) フォルダパス

収集ファイルを保存する為のフォルダを指定して下さい。

(2) フォルダ名

フォルダパスに作成するフォルダ名を指定して下さい。
記載されたフォルダ名が無い場合には、作成します。

(3) 日付付加

フォルダ名の後ろに"_" (アンダーバー) と日付 (YYYYMMDD) を付加します。

(4) 時刻付加

フォルダ名の後ろに"_" (アンダーバー) と日付 (HHmmss) を付加します。

6. ファイル設定

拡張子は自動で付加され、「.txt」となります。

(1) ファイル名

保存する元となるファイル名となります。

(2) 日付付加

ファイル名の後ろに"_" (アンダーバー) と日付 (YYYYMMDD) を付加します。

(3) 時刻付加

フォルダ名の後ろに"_" (アンダーバー) と日付 (HHmmss) を付加します。

4.1.2.4. メール設定

メール設定

送信タイミング

送信なし
 1件収集時
 メニュー終了時
 アプリ終了時
 指定時間毎 時間

メール設定

メール送信後ログファイルを削除する

送信メールサーバ(SMTP)

SSL有効 ポート番号

ユーザ名(SMTP)

パスワード(SMTP)

送信元メールアドレス

送信先メールアドレス

件名

メール送信の設定を行います。

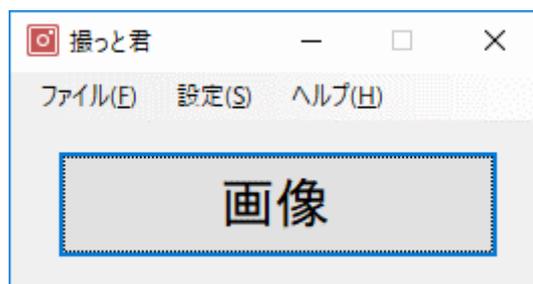
1. 送信タイミング

- ・ 送信無し
メール送信を行いません。
- ・ 1件収集時
1件収集後、メールを送信します。
- ・ メニュー終了時
各メニュー終了時、メールを送信します。
- ・ アプリ終了時
アプリケーション終了時、メールを送信します。
- ・ 指定時間毎
各メニュー内で、テキストボックスへ入力された時間毎にメールを送信します。

2. メール設定

- (1) メール送信後ログファイルを削除する
メール送信後にログファイルを削除するかどうかの設定を行います。
- (2) 送信メールサーバ
メールを送信する為の送信メールサーバの設定を行います。
- (3) SSL 有効チェック
メール送信で SSL 通信が必要な場合にチェックをします。
- (4) ポート番号
メール送信用のポート番号を設定します。
- (5) ユーザ名
メール送信用のログインユーザ名を設定します。
- (6) パスワード
メール送信用のログインパスワードを設定します。
- (7) 送信元メールアドレス
送信元のメールアドレスを設定します。
- (8) 送信先メールアドレス
送信先のメールアドレスを設定します。
- (9) 件名
メールの件名を設定します。

4.2. 画像収集機能



画像収集画面を起動します。

4.3. コード & 画像 (1件) 収集機能



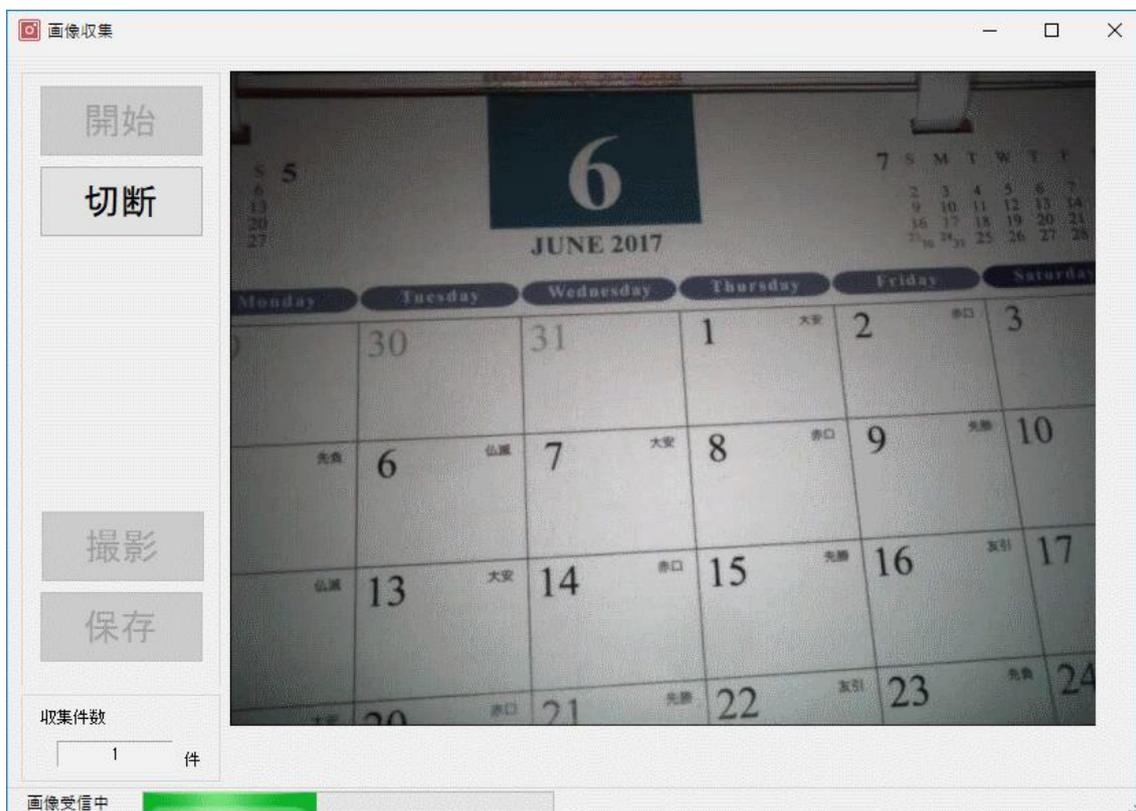
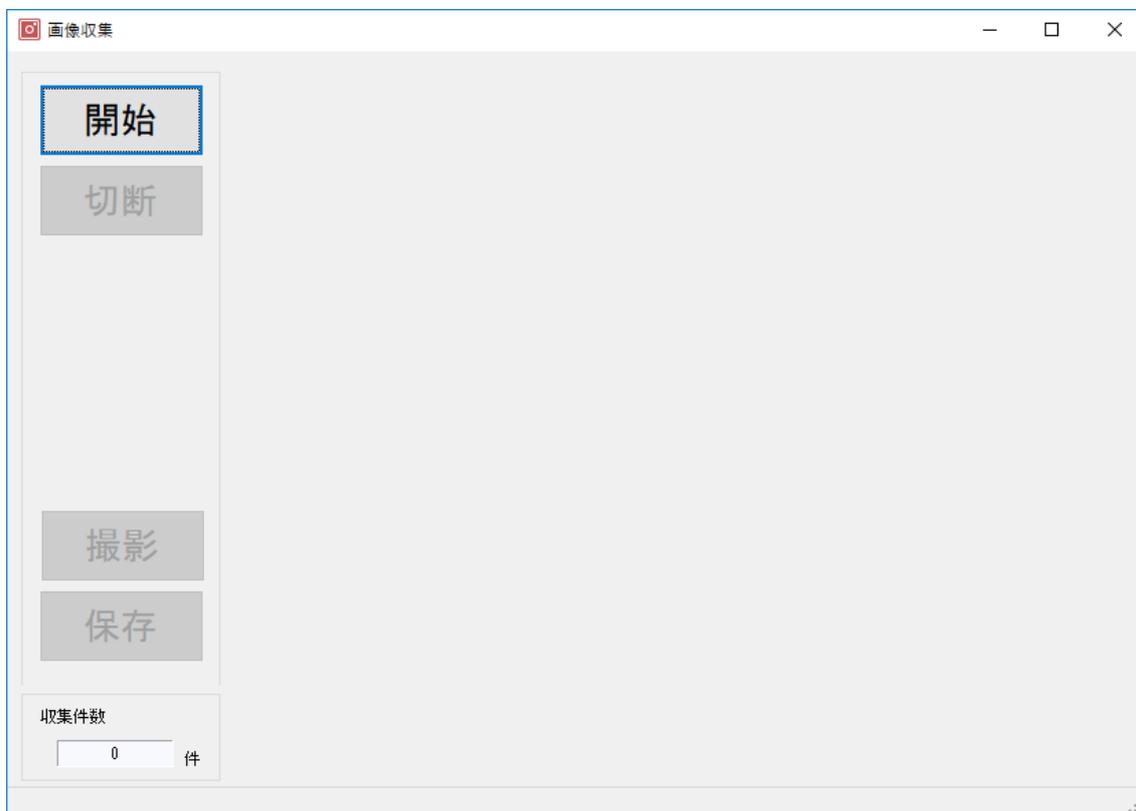
コード & 画像 (1件) 収集画面を起動します。

4.4. コード & 画像 (複数) 収集機能



コード & 画像 (複数) 収集画面を起動します。

5. 画像収集画面



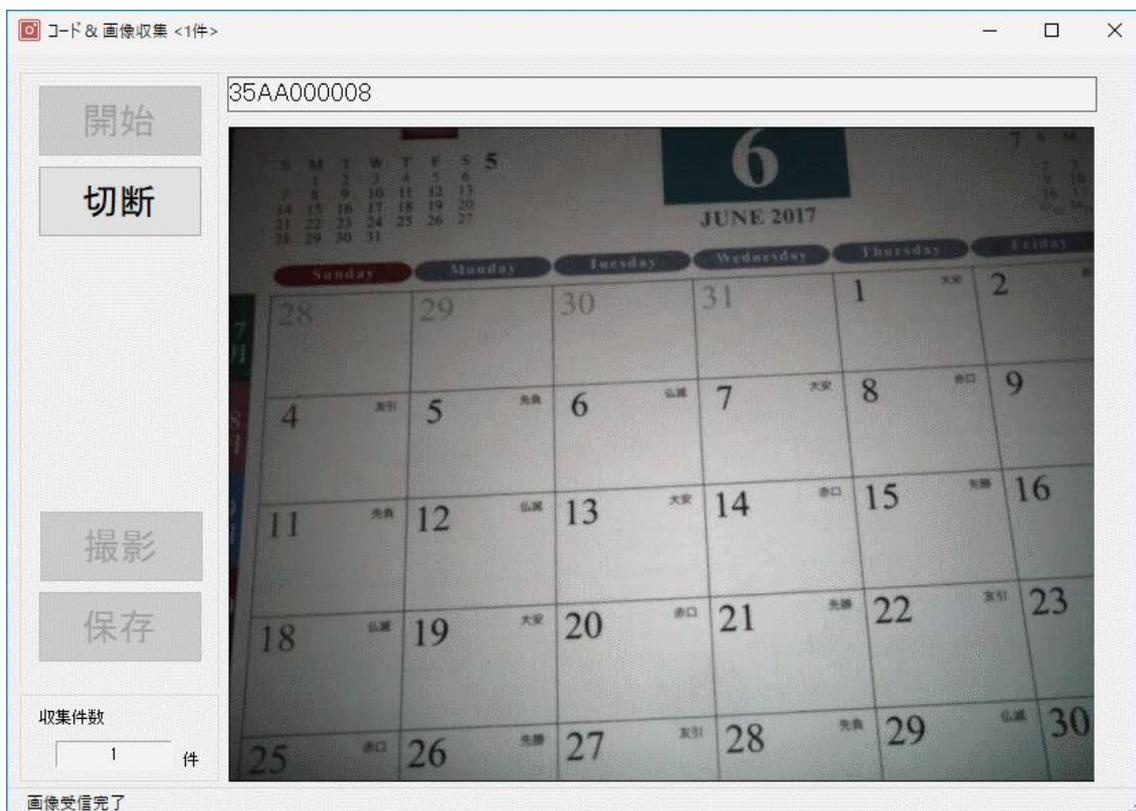
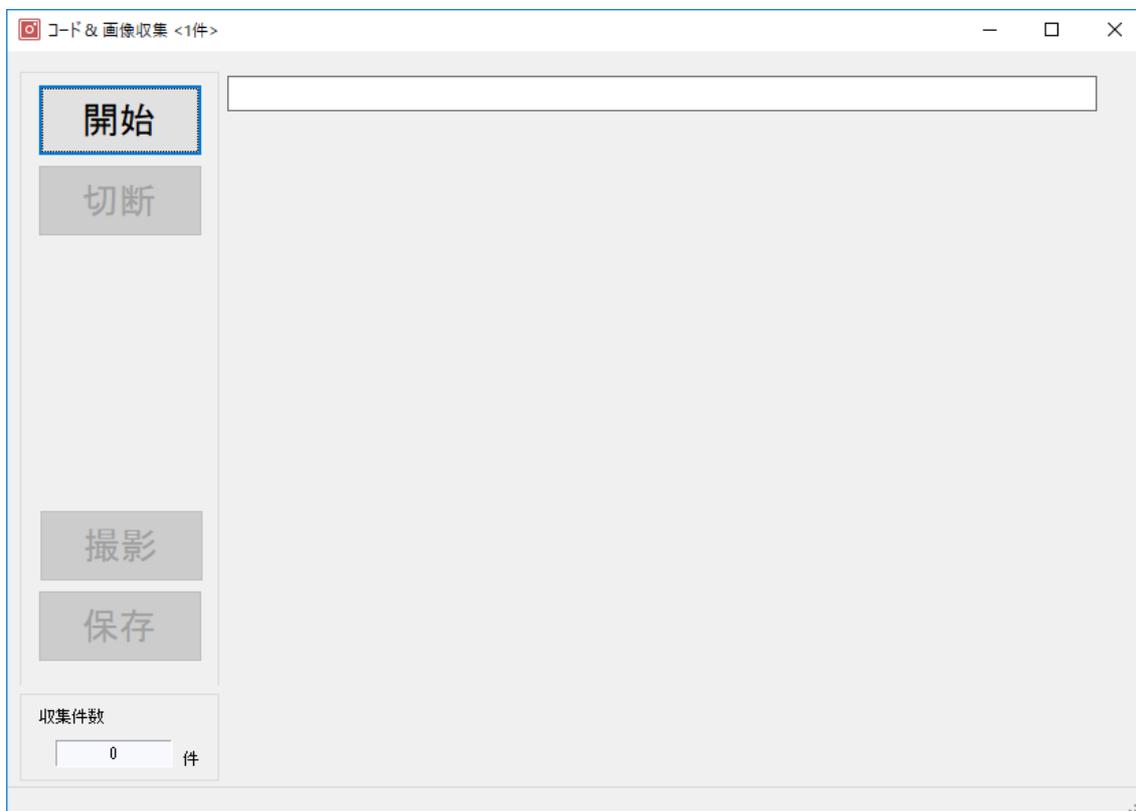
5.1. 画面内容

1. 開始ボタン
設定されたシリアルポートをオープンして、画像の収集準備を整えます。
2. 切断ボタン
オープンされたシリアルポートを切断します。
3. 撮影ボタン
画像設定の撮影方法にて、「ボタンで撮影」が選択されている時、有効となります。
4. 保存ボタン
画面設定の画像保存前確認にて、「チェック」をした時、有効となります。

5.2. 操作方法

1. 開始ボタンを押下し、ポートをオープンします。
2. 画像設定の撮影方法により、画像取得方法が変わります。
 1. ボタンで撮影
 - ・ スキャナを撮影したい方向へ向け、ボタンを押下します。
 2. トリガで撮影
 - ・ スキャナを撮影したい方向へ向け、トリガを押下します。
 3. バーコードと同時に撮影
 - ・ スキャナでバーコードを読み取ります。
3. 画像撮影後、画像表示領域へ画像が表示されます。
※ 画像設定の内容により、取得時間は長くなったり、短くなったりします。
4. 画像設定の内容により、保存されます。
 - ・ 画像保存前確認がチェックされている時、保存ボタンが有効となり、確認が出来る様になります。また取り直しを行う事が可能になります。
5. 収集終了まで、2～4を繰り返します。

6.コード & 画像収集 (1件) 画面



6.1. 画面内容

1. 開始ボタン
設定されたシリアルポートをオープンして、画像の収集準備を整えます。
2. 切断ボタン
オープンされたシリアルポートを切断します。
3. 撮影ボタン
画像設定の撮影方法にて、「ボタンで撮影」が選択されている時、有効となります。
4. 保存ボタン
画面設定の画像保存前確認にて、「チェック」をした時、有効となります。

6.2. 操作方法

1. 開始ボタンを押下し、ポートをオープンします。
2. バーコードの読み取りを行います。
 - ・ 画像設定の撮影方法で、バーコードと同時に撮影を選択していた場合、バーコード読み取りと同時に画像取得を行います。(4へ移動します)
3. 画像設定の撮影方法により、画像取得方法が変わります。
 1. ボタンで撮影
 - ・ スキャナを撮影したい方向へ向け、ボタンを押下します。
 2. トリガで撮影
 - ・ スキャナを撮影したい方向へ向け、トリガを押下します。
4. 画像撮影後、画像表示領域へ画像が表示されます。
※ 画像設定の内容により、取得時間は長くなったり、短くなったりします。
5. 画像設定の内容により、保存されます。
 - ・ 画像保存前確認がチェックされている時、保存ボタンが有効となり、確認が出来る様になります。また取り直しを行う事が可能になります。
6. 収集終了まで、2～4を繰り返します。

7.コード & 画像収集（複数）画面

7.1. 画面内容

1. 開始ボタン
設定されたシリアルポートをオープンして、画像の収集準備を整えます。
2. 切断ボタン
オープンされたシリアルポートを切断します。
3. バーコード読み取り件数
2 ～ 10 件まで収集が可能となっており、画像設定画面にて、初期値を設定します。
開始ボタン押下までは、件数を変更する事が可能です。
4. 画像取得件数
1 ～ 10 件まで収集が可能となっており、画像設定画面にて、初期値を設定します。
開始ボタン押下までは、件数を変更する事が可能です。
5. 初期値ボタン
バーコード読み取り件数、画像取得件数を画像設定画面で設定した値で初期化を行います。
6. 撮影ボタン
画像設定の撮影方法にて、「ボタンで撮影」が選択されている時、有効となります。
7. 保存ボタン
画面設定の画像保存前確認にて、「チェック」をした時、有効となります。

7.2. 操作方法

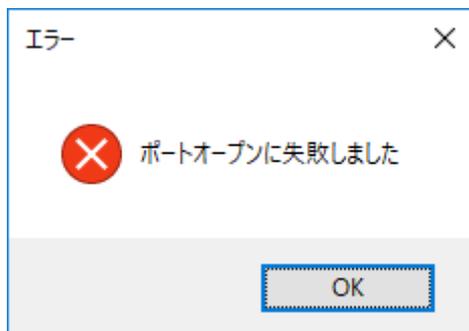
1. 開始ボタンを押下し、ポートをオープンします。
2. バーコードの読み取りを行います。
 - ・ 画像設定の撮影方法で、バーコードと同時に撮影を選択していた場合、バーコード読み取りと同時に画像取得を行います。
3. バーコードを設定件数分読み取ります。
4. 画像設定の撮影方法により、画像取得方法が変わります。
 1. ボタンで撮影
 - ・ スキャナを撮影したい方向へ向け、ボタンを押下します。
 2. トリガで撮影
 - ・ スキャナを撮影したい方向へ向け、トリガを押下します。
5. 画像撮影後、画像表示領域へ画像が表示されます。
※ 画像設定の内容により、取得時間は長くなったり、短くなったりします。

6. 画像設定の内容により、保存されます。
 - ・ 画像保存前確認がチェックされている時、保存ボタンが有効となり、確認が出来る様になります。
また取り直しを行う事が可能になります。
7. 画像を設定件数分撮影し、保存します。
8. 収集終了まで、2 ～ 4 を繰り返します。

8. 制限事項

8.1. エラー対応

1. ポートオープンエラー



- ・ 通信設定のポート番号と、スキャナを接続して出来たポート番号が一致しているか、ご確認ください。
- ・ 他のアプリケーションにて、同じポート番号を使用していないか、ご確認ください。
- ・ ごくまれにポートのオープンが出来なくなっている場合があります。
原因として、USB-COM デバイスの初期化のエラー等が考えられます。
対処法としては、USB ケーブルを一度抜いて挿し直す、別の USB ポートを使用する等を行って下さい。

2. 切断時の警告



- ・ 収集画面で、トリガで撮影を選択していた場合には、スキャナとの切断を行う為に一度トリガボタンを押下する必要があります。
切断ボタン押下後、トリガボタンを押下して、スキャナを切断出来る状態にして下さい。

お問い合わせ窓口

- ◆ 弊社ホームページ <http://www.e-welcom.com> お問い合わせフォームより、お問い合わせ下さい。
お問い合わせ内容は、本製品に関する事に限らせて頂きます。

- ◆ 本ソフトウェアのカスタマイズについては、お近くの販売店又は弊社までご相談下さい。



ウェルコムデザイン株式会社

URL: www.e-welcom.com
e-mail: welcom@e-welcom.com

本社 〒651-2228 兵庫県神戸市西区見津が丘1-13-3
TEL. 078-994-5333(代) FAX. 078-994-5400

東京本社 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3 神田大木ビル
TEL. 03-5295-7250(代) FAX. 03-5295-7252